

異能の人、 辞書と読む。

鳥居みゆき

撮影・木村哲夫

何万という言葉を規則的に配列し、

規範を示す「辞書」という書物——。

常識という枠を軽やかに乗り越えていく

「異能」の彼女は、この「規範の書」の中に

いったい何を見ているのだろうか……。

辞典は好きです。辞典と辞書ってどう違うんですか？？？

「こちらの目をのぞき込むように、彼女はたどたどしく話しはじめた。」

小学生の時に漢字テストがあつて、隣の席の人と交換してマル付けするんですけど、私の採点は甘かったのに、隣の席の人が、すごく厳しかったんです。点とか、ハネとかはらいとか、全部バツにするんですよ。なので、私も厳しくしてやろうと思つたけど、漢字をよくわかつてなかったからできなかったんです。なので、厳しくできるように辞書を読もうと思つたんです。

その頃、私が使つてたのは昔の『漢語林』です。こう、表紙が青いの。今は『新漢語林』になってますけど、これって昔からありましたよね？

ううん。友だちじゃないですよ。友だちはいなかった

そしたら、その前に漢字テストが終わっちゃつて。なんか、あんま意味なかったです。でも絶対忘れません。もう、その人を見返すために、今、頑張ってます。友だちじゃないですよ。友だちはいなかったです。隣の席の女の子です。

「どこか薄暗い幼少期のエピソードを機に、彼女と漢字の奇妙な関係がはじまった。」

漢字はすごい好きです。あの、「くにがまえ(□□)」とか。私、閉所恐怖症なんですよ。だから、この中人っちゃつたら大変だなうとか思つて。「はこがまえ(□□)」だったらいける、とか。ほら、すき間が空いてるので。

でも、こういうの、何て言うんでしたっけ、あく、「えんがまえ(□□)」。これは、危ないですよ。なんたつて下がらないですか

ら。あく、でも「しんによう(□□)」みたいなのが、もしあつたとしたら、右からは登りにくいですよ。そういうの、ずっと考えてます。あく、落ちちゃう、とか。形が好きなんです。いろいろ考えちゃいます。子どもの頃からですね。

* * *

「甘」って漢字は、いつもキリンみたいだ。なつて。で、体を全部書いたりもします。でも、そんなにスペースがないことが多いから、首は短いんですよ。あの、「介」って漢字あるじゃないですか。あれの場合は、またがったら痛そうだから、中世の拷問に使われていたんじゃないかと。ううん、やっぱりいろいろ考えちゃいますよね。

だから、私、ここ(部首索引)をいちばん見ます。見やすいから。こつち(本文)にな



とりいみゆき 秋田県生まれ。端正な顔立ちと、支離滅裂とも思えるトークのギャップが人気のお笑い芸人。シユールな芸風のコントが圧倒的な支持を得ている一方、一昨年に出版した処女小説『夜にはずっと深い夜を』(幻冬舎)も各界から高い評価をうけるなど、マルチな才能を発揮している。趣味は般若心経・瞑想・歯石除去・被害妄想。簿記2級・工業簿記1級・珠算2級など意外な資格も。

ると色々な記号とかがあって、すき間が超
大変ですよ。この「園」のことか入っ
ちゃったら出られない…迷路ですよ。

好きな言葉は、「魑魅魍魎ちみりゅう」が跋扈こぼ
する。あと、蟹が好き。「蟹」っていう漢字。
最近謎が解けたんです。蟹は分解できる虫
なんですって。私、「解る虫」なのに、なん
で「解る虫」なのかが解らないのはなんで
かなー、って思っていました。分解の「解」だっ
たんですね。解決しました。…調べた…イ
ミダス。

彼女の、漢字に対する妄想は、徐々に細
かなイメージを形作っていく。

「皿」っていうのは、あの、卵を薄く切る
のにいいですよ。スライス作るのに、欲
しいなあって思ってたんです。

「忒」って漢字あるじゃないですか？ あ



れ、全然「2」な感じがしないんですよ。いっ
ぱい入ってるから「3」か「4」くらいの
イメージですね。棒の一、二、三で数える
イメージだから、「忒」とかなると、もう「3」
か「4」の感じに思っちゃいます。「壺」も
めちやくちや多いけど、「参」はちよつと手
抜いてますよね。

あと、「無」って漢字って必要ある？ っ
て思っちゃいます。「無」っていうのは、な
い(状態)で表した方がいいと思いますね。
でも、難しいっか。そしたらここに何かあ
りましたってのを書いてもらいましょ。
矢印で「ここに何かありました」って。そ
れか、「有」を点線にして。あれっ、なんか
なくなっちゃった、みたいな。消えてる感
がありますね。うん、そっちの方がいいや。
それにしましょ。

「自由」って漢字は とても不自由そう…

* * *

「白」とか漢字見ると、痛そうで取ってあ
げたくありませんね。トゲを。母性本能がく
すぐられて、マザー・テレサの気分になり
ます。「首」とか、「あつ、二個刺さっちゃっ
てる」って。可哀相だなんて思っちゃう。

あと、「自由」って漢字は不自由そうです
ね。「由」は、一日一日を壊されてる。「日」っ
て漢字に、杭が打たれてる感じで…。

「自」って漢字も、ここ開けられるよって
感じに見えるんだけど、なんか、閉ざされ
てますね。地下にいる感じ。地下で、鉄格
子で、双子の兄がこうやってずっと食事を
待っている…みたい。ほんとには私には双
子の兄がいて、地下で鉄のなんかかぶせら
れて、鎖に繋がれて…。だって、ここ開け
られるんだけど開かないんですもん、塞

がって。外から見ると、全然自由に見えるんだけど、中の人は「ほんとは開かないんだよー」って。

「……」
「ついていけない……。そう、彼女は「異能の人」なのである。そして彼女は、異能ゆえに、とても生きづらそうにも見える。

漢字は、ずっと見てるとゲシュタルト崩壊しちゃうでしょ。それが楽しいんです。なんだっけ、これ？ みたいな感じで、あれが好き。よくあるんですよ。歩いてても、「あれっ、歩いてないんだっけ」って。それで歩けなくなっちゃいます。意識しちゃうと全然できない。どうやんだっけ、前までできてたのにな。寝付けない時って、どうやって寝てたっけってなるでしょ。それと同じです。

夜中とかでも、あ、この漢字ってどう

友だちがいたら
こういうの読まなかつ
たと思いますっ！

いうんだったっけ、とか。それで調べて、あ、面白いかも思っちゃいます。それで、天井がなんかの字に見えたり顔に見えてきたり……。

だから私の一日に占める漢字の割合はかなり高いんです。何か書く時も、漢字じゃなくていいところまでわざわざ漢字で書いてます。でも、メールだと……、それが病んでるとか思われちゃうから……、全部ひらがなにして、……道化の気分で……道化を演じています。

* * *

漢字についてこんなにしゃべったのははじめてです。言葉について。こういう話をする相手っていうのは……（指を折る仕事で）、うん、いません。友だち自体があんまり……いないっていうか……。でもっ、友だち

がいたらこういうの読まなかつたと思いません。こんな読んで時間つぶしたりしないと思う。

人と話すより、ひとりでもっともって考えたりしたいんです。人にわかってもらえなくていいんです。「あー、これわかってもらえないかなー」って思う時はしゃべりたくなるけど……。でも、……共感って得られない……と思います。読んでない人だと……。あんまり読んでる人まわりにいませんね……。

「共感」とはほど遠い空気を感じとったのか。彼女は静かにこう締めくくった。

「……」
こうやって辞書見てるの楽しいですね。絵を見てるようで……。でも、不思議ですよ。うん。だって、「丸」って丸くないじゃないですか。「四角」は四角いののに。「丸」はもつと丸っぽくならないのかな……。



いのう【異能】『多』ふつうの人にはない、すぐれた才能。また、一風変わった特別な能力。「力士じしよ【辞書】『多』ことばを集めて一定の順序に配列し、発音・表記・意味・用法などを説明した本。辞典。字引。「を引く」▼「辞典」のほか「字典」も含めていう。
〔明鏡国語辞典〕より